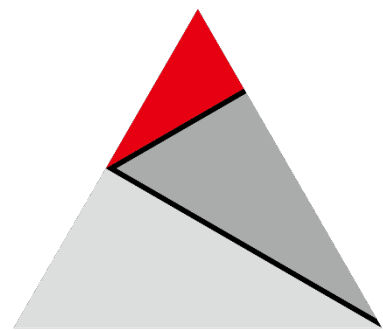




AGAROOT
ACADEMY

アガルートアカデミー

司法書士試験 本試験直前期の過ごし方（担当講師 千葉将人）

平成30年度司法書士試験 筆記試験日程

■ 平成30年司法書士試験 筆記試験期日

平成30年7月1日（日曜日）

【試験の時間割】

	時間	試験の内容
集合時間	9時	
午前の部	9時30分～11時30分 (2時間)	憲法、民法、商法・会社法、刑法
午後の部	13時～16時 (3時間)	不登法、商登法、供託法、民訴・民執・ 民保、司法書士法（記述式含む）

〔Point〕 直前期は基本に立ち返るべし！

- ・ 『過去問』、 『条文』 及び 『重要判例（先例）』 をひたすら反復する。
 - i) 直前期に新しい細かい論点を覚えるより、基本に立ち返って獲るべき問題を確実に正解するための勉強が大切
 - ii) 毎回間違える『過去問』の分野（苦手分野）を重点的に復習
 - iii) 主要4科目（民法、不動産登記法、商法・会社法、商業登記法）をメインに

〔Point〕 カラダを本試験のサイクルに慣れさせるべし！

- ・毎週日曜日に本試験と同じ時間割で予想試験問題を解く。
 - i) 大手予備校では、模試や答練を本試験の時間割に合わせて実施しているところも
 - ii) 模試や答練を受講していない場合は、市販の予想試験問題や法務省HPの過去問（平成26年から平成29年までの試験問題を公開）を活用
 - iii) 『何点取るか』より『（特に“午後の部”の）時間配分と自己流の解答ルールの確認』が大事

〔Point〕 模試の結果で一喜一憂するな！

- i) 試験会場の雰囲気慣れる
本番と同じ筆記用具を使用
早く問題を解き終わっても途中退出しない
- ii) 『時間配分』と『自信のない問題の対処方法』を確認
自己流の解答ルールの反復練習の場
- iii) 苦手な分野の確認ツールとして使う
模試や答練より本試験の方がスタンダードな問題が多い
得意・苦手な分野の確認ツールとして模試を活用

〔Point〕 意識的に息抜きの時間をつくるべし！

- ・ 週に1回は、勉強をしない時間をつくる。
 - i) 直前期（試験前2～3カ月）の間ずっと高い集中力を維持することは難しい
 - ii) 週に1回は、『映画を観る』『カラオケに行く』等の息抜きの時間をつくろう
 - iii) 『毎週水曜日』『日曜日の午後』は趣味の日等、予め息抜きの時間を決めておくことでメリハリをつける

司法書士試験は、直前2～3カ月の付け焼刃で合格できるような甘い試験ではない！

→今まで積み上げてきた知識を本試験で100%発揮できるように訓練するための期間である

しかし、直前期は合否を大きく作用するとても大事な期間である！

→70点の実力を80点の合格圏内へ底上げする期間である

あと2ヶ月頑張れば、つらい試験勉強から解放される！

→試験が終わったら、やりたかったことを存分に楽しもう♪